

会 議 録

会議名称	令和元年度 第4回佐倉市子育て支援推進委員会
開催日時	令和2年2月14日(金) 午後1時30分～午後3時00分
開催場所	佐倉市役所 社会福祉センター3階 中会議室
出席者等	委 員：早坂委員長、高山副委員長、立崎委員、伊藤委員、 越部委員、秀島委員、渡邊委員、石橋委員、平田委員、 青野委員、小林委員、川端委員、鴫崎委員 事 務 局：健康こども部 織田部長、子育て支援課 田中課長、 馬場副主幹、清野副主幹、照井主査、小森主査、土屋主査補、 木勢主任主事、中野主事、 志津保育園 野口園長、根郷保育園 牛玖園長、 南志津保育園 飯野園長
会議議題	(1) 令和2年4月開園予定の保育施設について (2) 民営化対象園の検討 (3) その他
会議経過	別紙、令和元年度第4回佐倉市子育て支援推進委員会 会議録のとおり

【1 開会】

【2 議題等】

- 議題1 令和2年4月開園予定の保育施設について
- 議題2 民営化対象園の検討
- 議題3 その他

【3 閉会】

議題に先立ち、「佐倉市立保育園の在り方に関する基本方針（第2次）」確定版について事務局から報告。

（事務局）

本基本方針は、11月末に答申をいただき、一部追記修正を加え市民意見公募を実施した結果、意見が無かったことから、このたび策定を終えた。主な修正は、用語集の追加等である。

議題1 令和2年4月開園予定の保育施設について

（事務局）

令和2年4月開園予定の事業所内保育施設 Bon ami（ボナミ）保育園については、郵便により意見を聴取し、賛成意見を1件いただき、滞りなく認可することができた。

今回意見を伺う施設「アンファンひのきさくら」は、保育に従事する職員全員が保育士資格を有する小規模保育事業A型に該当する（資料1、1ページ）。

所在地は寺崎北二丁目で、住宅開発の進められている地区である（2ページ）。

本施設は市条例に規定する設備、職員の配置基準を満たしており、3歳未満児の保育需要が増加している地域への設置であることから、本事業を認可することが妥当であると考えます。

運営事業者は、近隣で陽の木さくら保育園を運営している社会福祉法人であり、認可定員は0歳が3人、1・2歳がそれぞれ8人の合計19人である。

給食については、陽の木さくら保育園で調理したものを搬入することとなっている。屋外遊戯場については敷地内に確保している。

（委員長）

「令和2年4月開園予定の保育施設について」について、ご意見

等はあるか。

(委員)

給食の搬入はどのような手段で行うのか。

(事務局)

連携施設の陽の木さくら保育園で調理したものを、衛生面に問題がない状態で、車で搬入する予定である。

議題 2 民営化対象園の検討

(事務局)

民営化する園を審議いただくにあたり、対象の保育園について映像資料を使用して説明。

(以下について、約 110 枚の写真を用いて説明)

- ・ 駅からの保育園までのアクセス
- ・ 保育園の外観、園庭、各保育室の様子
- ・ 設備の不具合箇所

(事務局)

資料 2 を使用して、民営化候補園の基礎的なデータを説明。

3 園の中で最も古い建物は、南志津保育園の築 44 年である。

志津保育園や根郷保育園の RC 造（鉄筋コンクリート造）は、47 年である一方、南志津保育園は重量鉄骨造で、RC 造の建築物よりもその強度は落ち、耐用年数は 34 年と言われている。

公立保育園の特徴としては、園庭の広さがあげられ、3 園の園庭は基準を大きく超える広さとなっている。

志津南部区域において、市民から利用希望が多いのは、南志津保育園より、志津保育園という現状がある。利用希望が多い理由としては、駅から近いという利便性の良さや、自宅近くの保育園を希望する事が多いことから、保育園の立地する場所に就学前児童が多いと必然的に希望者数が増えるなどが考えられる。

2 ページの「令和 9 年度までに想定される設備改修費とおもな内容」については、保育園を維持するために想定される経費を試算したもの。想定改築費については、直近の首都圏における保育園の建

築費のデータから、定員1人あたりが325万5千円ということで、現在と同定員の建物を建築するという前提での建替え費用を算出している。

3ページからは、民営化候補園の在園者の居住地のデータを集計したものである。自宅が、保育園の近隣か、または、車などを用いてある程度広い範囲から通園しているのかについて把握が可能。保育園へ、近隣からどの程度の人が通園しているのかについて、把握する目的で集計を行った。

志津南部区域の志津保育園と南志津保育園では、同様の結果が出ており、一番特徴的なことは、8割弱が保育園の所在する「志津南部区域」からの通園であることが挙げられる。

また、志津南部区域に隣接する志津北部区域からの通園が約20%を占めていることも、ほぼ同様の結果であった。

4ページは根郷・和田・弥富区域についてであるが、根郷保育園は志津南部区域と異なり、同区域からの通園が92.4%と、とても高い割合となっている。その理由としては、根郷・和田・弥富区域は、市南部に広く、JR佐倉駅までの途中にある保育園であることや、隣接する佐倉区域や臼井・千代田区域からの利用が距離的に難しいことが考えられる。

5ページ以降は各区域における、おもな字ごとの就学前児童数の推移をまとめたものである

市域全体の総人口の傾向としては、平成23年の178,199人をピークに減少傾向が続いている。

志津保育園のある西志津と南志津保育園のある中志津は、いずれも就学前人口が減少しているが、中志津の減少幅が大きい。

南志津保育園がある中志津は、昭和40年代に大規模に造成された住宅地であり、現在は高齢化が進んでおり、子育て世代が少なくなっている一方、志津保育園がある西志津は、マンション、アパートなどの集合住宅、社宅なども多いことから、中志津と比べて若い世代が居住しやすい区域であり、就学前児童も多い状況である。

7ページの根郷・和田・弥富区域は、ほとんどの字において、緩や

かな減少をする中で、寺崎北のみ就学前人口が増加している。理由としては、近年大規模な住宅増を続けており、かつ若い子育て世帯の流入が多く、今後も一定期間はこの傾向が続くものと推察される。

根郷保育園は、保育園がある大崎台は、微減傾向であるが、寺崎北の人口増のニーズを吸収している保育園であるといえる。

市長から本委員会への諮問書では、

諮問第1号 志津南部地区民営化対象園の選定について

諮問第2号 次期民営化実施園の選定について

と、2点を諮問させていただいているが、本日の委員会では、諮問第1号の志津南部区域の志津保育園と南志津保育園のどちらを民営化対象園とした方がよいのか、という点についてご意見をいただき、3月の委員会で諮問第2号について、意見聴取したいと考えている。また、民営化候補園の園長も出席しているため、説明内容以外の質問についても挙げていただきたい。

～志津南部区域の民営化候補園についての分析～

資料3は、志津保育園と南志津保育園について、「民営化した時の利用者への影響」、「施設の老朽化」、「近隣の保育園の設置状況」等について、多角的に比較を行った。

これは、第2次の基本方針策定の際の委員会からの意見として、「新保育園へ移行した際、子どもと保護者が安心して保育園を利用できるように努めること。」という意見があったことから、建物の老朽化や市の今後の財政負担に限らず、利用者への影響面についても分析を行った。

民営化後に新設される保育園の利便性の面では、民間事業者の提案される候補地を推察すると南志津保育園を民営化した方がその後の利便は上がると予想される。

利用希望の面においては、志津保育園の方が希望が多い。志津保育園を民営化する場合は、南志津保育園の改築が必要となるが、その試算額3億3000万円弱の経費について、早急に市の予算を確保

ができるのかは、現在の財政状況を踏まえると厳しい状況と言わざるを得ない。

一方、南志津保育園を民営化した場合は、志津保育園の建築年数や耐用年数から、早急な改築は必要な状況ではなく、建築費用についての資金計画に余裕が持てると言える。

民営化実施時の対象子どもと近隣施設については、民営化を実施した際に新築保育園への転園を希望しない場合に、転園先として保護者の選択肢がどの程度あるのか、という点から比較をしている。志津保育園の近隣には、ソラストさくら保育園があるものの、現状120人の定員を満たしており、空きがない可能性が高いが、南志津保育園の近隣にある志津わかば幼稚園は、今後、認定こども園となる計画があり、南志津保育園が民営化した際の受け皿となりうる。

応募事業者では、定員が小さい南志津保育園の方が、土地の確保と保育士確保の面から、民間事業者から提案されやすく、より良い保育事業者の選択が見込めると考えている。

委員の皆様には、志津保育園と南志津保育園を比較して、どちらを民営化対象園にすべきか、ということについて、ご意見をいただきたい。

（委員長）

民営化候補園の状況について説明があったが、これらの事項についてご質問等あるか。

（委員）

資料2の5ページにおいて、過去5年の就学前人口について説明があったが、今後の宅地開発等の計画を考慮して検討したほうがよいと考える。

（事務局）

資料には今後の推移について掲載していないが、志津南部区域については、現時点で、大規模な宅地開発は予定しておらず、人口の

推移は微減の傾向が続くと予想している。その点を踏まえて、ご検討いただければと思う。

（委員）

南志津保育園は老朽化していると説明があったが、資料2の2ページにおいて記載されている令和9年度までに想定される設備改修については決定事項なのか。

（事務局）

仮に、各公立保育園を令和9年度まで維持した場合に必要な設備改修費を掲載している。

（委員）

民営化園が決定してから改修することが決まるのか。

（事務局）

設備等の改修経費は、あくまで想定される計画であり、現時点では決定していない。民営化を実施する園が決定した場合は、その園の改修は必要最低限となることが想定される。民営化対象外となった園で、令和9年度までに想定される設備改修内容と費用を掲載している。

（委員）

設備に不具合があるのであれば、保護者としては早急に改修してほしいと考える。

（委員）

迷う要素がない。通園している子どもや保護者に影響が少ないという観点から、転園先が確保されていることは最優先である。また、南志津保育園は耐用年数を超えているため、地震などの災害を考えると、安全面の観点から、子どもの命を守るために早急に手を打つ必要がある。その2点の観点から、民営化を検討すべきである。

（委員）

南志津保育園は雨漏りの箇所があるなど、設備の老朽化が著しいようである。現状はいかがであるか。

（南志津保育園園長）

古い園であるので、大雨があると天井から雨漏りする状況である。

その際は、子どもが濡れないように配慮するなど、衛生面で子どもたちへの影響について、子育て支援課と情報共有を図りながら配慮をしている。ワックスがけをし、大切に園を使って過ごしている。

（委員）

現状が危険ということはないか。

（南志津保育園園長）

危険箇所は一切ない。建物の構造上の問題による子どもや保護者の怪我はない。

（委員）

比較をした結果、南志津保育園は耐用年数が過ぎている。保護者が納得いただけるような新しい場所へ移転した方が良いと感じる。

（委員）

南志津保育園の園長からお話しをいただいたので、その他の園長の意見を伺いたい。

（志津保育園園長）

民営化を検討するにあたっては、子どもたちが通いやすい、保護者が安心して通えるという点を最優先で考えていただければと思う。保育園の主役は子どもなので、子どもたちが安心して、安全に生活が送れることが大切である。

（根郷保育園園長）

根郷保育園は平成3年に建築され、築28年であるが、保育に支障をきたすような不具合は出ていない。経年劣化等による設備の不具合については改修を随時行い、安心、安全な保育ができるよう対応しているところである。

（委員）

子どもの安全性のほかに考慮すべき観点として、民営化後の利便性や人口推移等があるが、園側はどれに重点を置いたほうがよいと考えるか。

（根郷保育園園長）

園に見学に来られた保護者から話を聞くと、園を検討する際は、利便性のほか、保育内容をよくみている。例えば、民間保育園であ

れば、自然に触れ合ったり、語学に重点を置く特色のある保育をしているかどうかという観点である。一方、公立園は信頼感を求められていると感じる。信頼を得られる保育をしていくことに努めている。

（委員）

立地という観点から、南志津保育園が民営化した場合は、ウェルネス保育園佐倉や志津わかば幼稚園が、保育の受け皿として考えられる。新規園については、減少傾向のある地域に、どれくらいの規模の園が必要と考えるか。

（事務局）

佐倉市立保育園の在り方に関する基本方針（第2次）では、同等の規模と記載しているが、民営化する園が決定した際は、その園の固有の状況（近隣施設の状況や子どもの人口推移など）を勘案して、規模を縮小することもあり得ると考えている。

（委員）

最近の異常気象による災害を踏まえると、今までとは違う環境であることを考慮する必要がある。子どもを安全な環境に置くという意味で、民営化するのであれば耐用年数が10年過ぎている南志津保育園ではないかと思う。

また、首都圏に通勤する保護者にとっては、駅に近いという利便性は大事な要素である。今後、志津駅付近にマンションができる可能性を考えると、南志津保育園を新しくする必要があると考える。

（委員）

老朽化した建物は不要ということになる。保育園に通う保護者は就労している事を考えると、民営化を実施する際は、駅から近い、または駐車場の確保に留意すべきである。南志津保育園を民営化することが妥当であると考え。将来的に民営化後の保育園の運営が難しくなる状況があったとしても、それはやむを得ないと考える。

（委員）

民営化する際は、立地条件の良さや、利便性が良いことを考慮して決めた方がよいのではないかと。また、子どものことを考えて適切な運営事業者から提案があるのであれば民営化を実施できるのではないかと。その点において、応募事業者の提案の可能性が低い志津保育園よりも、南志津保育園のほうが複数事業者から応募がある可能

性があるのであれば、その点を考慮して決めていけばよいのではないか。ただし、個人として志津保育園と南志津保育園のどちらを民営化すべきとは言えない。

(委員)

客観的にみて、安全性の観点から南志津保育園である。

民営化した場合はその職員が他の公立園に配置される。民営化する際は、保育士が確保されないと運営ができないというリスクがあるので民営化は難しい面もある。建物を新しくするという面を考慮すると、やはり南志津保育園であるか。

(委員)

耐用年数を考えると南志津保育園が妥当であると考えている。

(委員長)

大多数が、南志津保育園が民営化対象園に妥当であるということによいか。反対という意見は無いか。

反対なし

(委員長)

当委員会としては南志津保育園を民営化対象園とすることが妥当との答申を行いたいと思う。

議題3 その他

次回委員会の日程について説明

閉会